

2020 年 5 月 8 日

投資者の皆様へ

T&Dアセットマネジメント株式会社

**「T&D 通貨トレード 新興国社債ファンド(毎月分配型)」  
基準価額の下落について**

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

足許の市場動向と「T&D 通貨トレード 新興国社債ファンド(毎月分配型)」(以下、「ファンド」ということ  
があります。)の基準価額への影響に関しまして、下記の通りご案内いたします。

今後ともお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

◆ ファンドの基準価額

ファンド名	2020 年 5 月 7 日 基準価額(円)	2020 年 5 月 8 日 基準価額(円)	騰落幅 (円)	騰落率 (%)
リアルブル・コース	3,421	3,255	▲166	▲4.85

(騰落率は小数点第 3 位四捨五入)

◆ 市況情報

	2020 年 5 月 1 日	2020 年 5 月 7 日	騰落率 (%)
JP モルガン CEMBI ブロード・ディバーシファイド	417.56	420.75	0.76

(小数点第 3 位四捨五入)

上記については基準価額への反映を考慮し、5 月 1 日と 5 月 7 日を比較しています。  
JP モルガン CEMBI ブロード・ディバーシファイドは Non Investment Grade、米ドル建て、トータルリターンです。

	2020 年 5 月 1 日	2020 年 5 月 7 日	騰落率 (%)
ブラジルリアル(対円レート)	19.49	18.21	▲6.53

(小数点第 3 位四捨五入)

上記については基準価額への反映を考慮し、5 月 1 日と 5 月 7 日を比較しています。  
為替レートは、米国東部時間午後 4 時のレート、単位は円です。

出所:JP モルガン社、ブルームバーグ

#### ◆足許の状況

新型コロナウイルスの感染拡大により経済活動が停滞し、世界的な景気悪化への懸念が根強いものの、欧米などでは感染拡大にピークアウトの兆候が見られ、経済活動の再開に向けた動きが進んでいることや各国の政府や中央銀行による景気対策への取り組みなどを受けて、先進国を中心に株式市場が上昇する中、米ドル建ての新興国社債市場も堅調な展開となりました。

一方ブラジルでは、新型コロナウイルスの感染拡大を受けた世界的な景気後退への懸念から国内経済に不透明感が強いことに加え、5月5日に大手信用格付会社のフィッチが同国の格付見通しを「安定的」から「ネガティブ」に引き下げたことや、ブラジル中央銀行が翌6日に開催した通貨政策委員会において市場予想以上に政策金利を引き下げたことなどが悪材料視され、ブラジルリアルは大きく下落しました。

#### ◆今後の見通し

新型コロナウイルスの感染拡大から経済活動が継続的な影響を受けることにより、世界経済の先行きに不安が増し、大幅な景気後退が市場共通の見通しとなっています。このような中、新興国社債市場は3月に急落した後、徐々に上昇していますが、感染拡大の終息時期が不透明なため、価格の下落圧力は強いと考えられます。そのため、引き続き銘柄選択により一層注意を払い、過度なリスクを取らず、慎重な投資方針を継続していきます。

ブラジルでは、国内経済の先行きに不透明感が漂っていることに加え、新型コロナウイルス感染拡大に歯止めが掛かる兆候が見られない中、ボルソナロ大統領が防疫対策に消極的な姿勢を示していることや、連邦警察庁長官の人事を巡って大統領が警察組織に介入した疑惑が浮上するなど政治面での不信感も強いことなどから、当面ブラジルリアルは上値の重い展開が見込まれます。

以上

\* JP モルガン CEMBI ブロード・ディバーシファイドについて、指数に関する一切の知的財産権とその他一切の権利は JP モルガン社に帰属しております。JP モルガン社は、指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。JP モルガン社は指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。

当資料はT&Dアセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成したのですが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また投資信託の取得をご希望の場合は、下記のご留意事項を必ずご確認ください、ご自身でご判断ください。

## 投資信託のお申込みに際してのご留意事項

### 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券、投資信託証券など値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、運用実績は市場環境等により変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。これら運用による損益は全て投資者に帰属します。

また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)をよくお読みいただき、ご自身でご判断ください。

### 投資信託に係る費用について

#### ◇投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料・・・上限 4.40%(税込)

信託財産留保額・・・上限 解約金額・償還金額の1.00% または1口(設定時1口1万円)あたり250円

#### ◇投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬)・・・上限 年2.035%(税込)

その他費用・手数料・・・上記以外に保有期間に応じてご負担いただく費用があります。

投資信託証券を組み入れる場合には、間接的にご負担いただく費用として、当該投資信託の資産から支払われる運用報酬、投資資産の取引費用等が発生します。これらの間接的な費用のご負担額に関しましては、その時々各投資信託証券の組入比率や取引内容等により金額が変動しますので、事前に料率、上限額等を示すことができません。

\*上記の費用の合計額については、投資者がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

\*詳細につきましては必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」でご確認ください。

### 《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、T&Dアセットマネジメントが運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容をよくお読みください。